

平成23年度

(社) 岐阜県建築士会 まちづくり委員会 自主事業

ブラ街つく ストリート 参加者募集

岐阜県内には、中山道を始め歴史的街道が今もひっそりと残っています。 そんなマチを、歩く
速さでゆっくりブラッと散策し、当時を思いおこし、ドラマチックな出会いをしてみませんか。
休日はハートを磨き、新しい出会いに夢ふくらませましょう。

- 集合時間 : 各会場 9時30分(飛騨市のみ9時)
- 町並み散策時間 : 9時45分～12時45分
- 参加費 : 各会場毎に資料代・昼食代として1,000円を申し受けます。

スケジュール

	日程	集 合 場 所	コンシエルジュ
1	10/1	飛騨市古川町	全国町並ゼミ in 古川への参加
2	10/9	大井町消防コミュニティセンター	中山道かたりべの会：西尾重人 氏他
3	12/11	大垣ガス ほのりんプラザ	中井正幸 氏, 豊田富士人 氏
4	1/15	岐阜市 妙照寺会館	建築士会：河崎良史 氏
5	2/12	岩村城跡, コミュニティセンター	建築士会：鈴木繁生 氏, 熊澤健 氏
6	3/11	各務原市鵜沼福祉センター	都市計画課：服部 氏 教育委員会：川上 氏

- 申し込み先 : 下記申込書にご記入いただき FAX でお申し込みください。
(社) 岐阜県建築士会 事務局 担当：石田
TEL 058-266-5786 FAX 058-266-6867

- 企画運営 : まちづくり委員会
- 後援 : 岐阜県教育委員会(予定)、各市教育委員会(予定)

(社) 岐阜県建築士会 行 (FAX 058-266-6867)

ブラ街つくストリート参加申込書

氏 名	
当日の連絡先(携帯等)	
E-mail アドレス※1	

※1 ブラ街つくストリートに関する連絡をメールにてお知らせします。出欠確認等もメールで行う予定です。

6 会場のねらい

1. 飛騨市古川町 界限

飛騨の伝統的技法を伝承すべく、建築トラストもテコ入れされたこの地域は、昔から職人（大工）の質も高くうまく現代に繋げてきている。廃屋の活用なども含め都市部より人を引き込み定住化促進を図ろうとガンバル取り組みは、保存・活用と技能伝承にも繋がって行く活動で、手法的にも学び論ずる意義がある地域だと思われる。

今回、全国町並ゼミに参加することで、各地の情報も交換できるものと思います。

2. 中山道の宿場町、大井町 界限

平成 16 年に市町村合併した恵那市では、地方自治法に基づく地域自治区制度が条例制定され、まちづくりに住民の声を反映するための機関として旧来の地域ごとに設置された地域協議会を中心に、地域の特性を活かしながら地域が持つ課題を住民自らが考え、参画、行動する取り組みが始まっている。かつての中山道大井宿に残る明治天皇行在所の保存と活用に向けた町づくり協議会の取り組みを通じて、協働のまちづくりの現状と課題について議論し、提言をしていきたい。

3. 大垣市船町 界限

建築士によるまちづくり活動が展開されているものの、地域住民の意識高揚に乏しく、景観形成の合意が得られない状況の中、TMOにより核と成るべく“むすびの地記念館”が建設中である。しかしながら、周辺の歴史的建築物の保存・活用への気運が高まらず、今後の展開をどのように進めて行くか、議論を深めて行く必要がある。

4. 岐阜市妙照寺

“芭蕉の間”を有するこの寺は文化財としての価値も高く、耐震補強のリノベーション途中でもある。現場の声を反映させながら、文化財の修理を展開している手法を学ぶと共に、併せて地域一体の歴史的景観についても議論の余地があるように思われる。

5. 恵那市岩村町 界限

重伝建地区に選定されているこの地域は、気候・風土・風習とのマッチングを図りながら、まちづくりが展開しているように考えられる。世代や性別を越えた多様なイベントや活動が実施されており、ハードに寄らずソフト事業への展開が見られるまちづくり活動を歴史的風致とともに体感し、今後の展開を考えてみたい。

6. 各務原市鶯沼宿 界限

中山道の宿場町でありながら、その面影も殆ど残っていないほど変化の地区であったが、各務原市の景観重点地区に指定され、旧武藤家住宅のリノベーションを拠点に、再生整備計画で往時を偲ばせる町並みに再生された。歴史的景観と建築物を創り上げて行こうとしている手法について、ワークショップを通し提言して行きたいと考える。